

新たな役割を担う「内港地区」

金城ふ頭



【港内位置図】

港の中央に位置する商港機能の中枢

名古屋港のコンテナ輸送もここからスタート

港の中央に位置し、商港機能の中枢を担う重要なふ頭で、総トン数2,000トン以上の船を係留することができる岸壁が25あります。名古屋港初のコンテナターミナルが整備されたふ頭でもありますが、平成21年からはコンテナ機能を廃止。現在、複数自動車メーカーによる世界各地への完成自動車輸出のほか、産業機械輸出、工業用金属輸入などが盛んに行われています。

交通アクセスに優れたふ頭

東西の伊勢湾岸自動車道に、南北のおおなみ線

ふ頭内には伊勢湾岸自動車道の名港中央インターがあり、道路網が発達しています。また、名古屋西南部初の旅客鉄道として平成16年10月におおなみ線が開業。名古屋駅と金城ふ頭との間の15.2kmを約24分で結びます。名古屋市内では唯一、海と港が眺められる鉄道です。ふ頭内の施設に訪れる多くの方々に利用されています。

名古屋臨海高速鉄道株式会社 TEL 052-383-096



名古屋港船舶通航情報センター（ナブティック）NAVITIC = Nagoya Port Vessel Traffic Information Center

金城ふ頭の南端、港の中央部に位置し、入出港船舶の離着岸情報などの集中管理をする通航管理と、“なごやポータルラジオ”を通じて船舶と直接通信し、入出港に際しての必要情報を提供する通航通信を行っています。

また同じビル内には第四管区海上保安本部の名古屋港海上交通センターがあり、船舶の管制業務と安全運航のための情報提供を行っています。塔屋最上部には「管制信号板」および「情報信号板」が設置され、アルファベットなどの電光表示により船舶への航行管制と情報提供が行われています。

地上10階、高さ75.1m。平成6年稼動。

名古屋港管理組合 通航情報管理室 TEL 052-398-0512

名古屋港海上交通センター TEL 052-398-0711



開発進む親しまれる交流拠点

名古屋市国際展示場（ポートメッセなごや） TEL 052-398-1771

「ポートメッセなごや」として親しまれる全国有数の総合展示施設です。総展示面積約 4 万㎡の展示施設やホール、会議室、飲食施設などの各施設を備え、見本市・展示会、イベント・コンサートなど多様な用途に対応しています。



鉄道ミュージアム（リニア・鉄道館） TEL 052-389-6100

在来線から超電導リニアまで 39 両の実物車両を展示。シミュレータや鉄道ジオラマなどもあり、鉄道のしくみや歴史などを楽しく学ぶことができます。

平成 23 年 3 月開館。



レゴランド®・ジャパン・リゾート TEL 0570-05-8605

レゴランド®・ジャパンは、平成 29 年に世界で 8 番目のレゴランドとして名古屋市に誕生した、屋外型のキッズテーマパークです。

平成 30 年に新たに加わった、「レゴランド®・ジャパン・ホテル」と「シーライフ名古屋」とともに、一大ファミリーリゾート「レゴランド®・ジャパン・リゾート」へと変貌をとげました。



レゴランド®・ジャパン・リゾート
©2025 The LEGO Group.

メイカースピア TEL 052-304-8722

食品サンプル作りや吹きガラス体験等、様々なものづくり体験が楽しめる複合型商業施設です。平成29年3月オープン。



スポーツ施設（名古屋金城ふ頭アリーナ） TEL 052-891-7800

2,500 席を超える観客席を有し、スポーツの国際大会・全国規模の大会や名古屋を拠点に活躍するトップスポーツチームの活動などに活用される施設です。

※現在、改修工事中。令和 8 年 1 月にリニューアルオープンを予定しています。



金城ふ頭中央緑地

来港者や港湾関係者などの憩いの場として整備され、平成 24 年には名古屋市のモノづくり文化交流拠点構想と連携した事業として、港の眺望を楽しむことができる緑地にリニューアルしました。



大型クルーズ船の寄港

平成 11 年 3 月、大型クルーズ船「クイーン・エリザベス 2」が名古屋港に初寄港した際、名港中央大橋を通過することができないため金城ふ頭に着岸しました。平成 30 年 4 月には総トン数 168,666 トン、全長 348 メートルの「クアンタム・オブ・ザ・シーズ」、平成 31 年 3 月には総トン数 115,906 トン、全長 290 メートルの「ダイヤモンド・プリンセス」が着岸するなど、大型化が進むクルーズ船の受入も行っています。

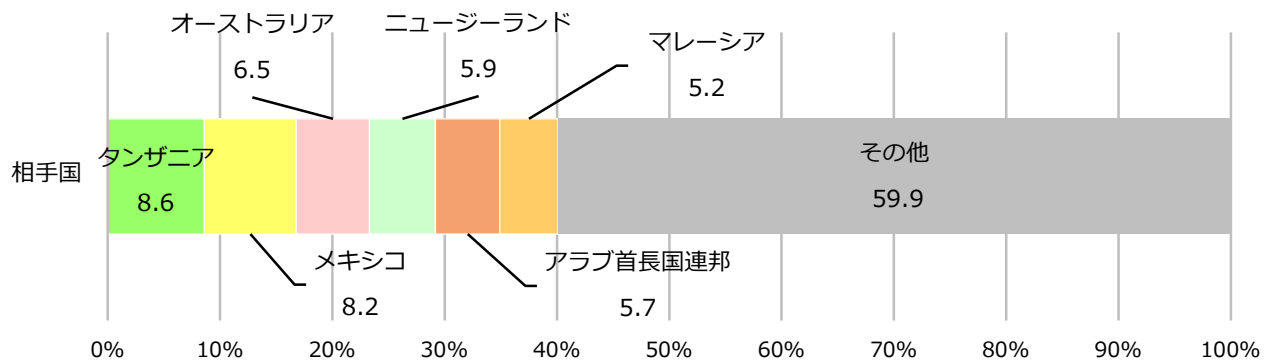


エリア基本データ

ふ頭名称	金城
旧名称	13号地
臨港地区面積	188.4ha
埋立完成時期	昭和46.2.18～令和8(予定)
バース水深	5.5～12m



●金城ふ頭完成自動車輸出 455万トン（品種別取扱港内比率 11.0%）



公共岸壁（金城ふ頭）

係留隻数 2,016隻

取扱量と品種

